買い物ついでに楽しいおしゃべりを

移動スーパー「まごころ」快走中

津野地区をモデル地区として稼働を開始した移動販売車。移動販売は生活を守るライフラインとしてだけでなく、交流する場となったり、お年寄りを見守ったりと多様な役割を担っています。「添田音頭」が流れてきたら、移動スーパー「まごころ」の登場です。豊富な品がそろった販売車に遊びにきてみませんか。　問 役場福祉環境課高齢者支援係（☎ 82-1232）

高齢化が全国平均を上回るスピードで進む添田町。特に、山間部では自動車運転免許の自主返納などで行動範囲が制限され、多くの人が食品や日用品などの買い物が困難な状況であり、買い物弱者に対する支援のニーズが高まっていました。

そこで町は麻生芳雄商事(株)、社会福祉法人友あい会と3者協定を結び、11月8日から毎週水曜日に津野地区で移動販売車による食品などの販売を開始しました。添田町が友あい会と移動販売に関する業務委託契約を、友あい会は麻生芳雄商事(株)と商品の売買契約を結び、友あい会が商品の仕入れから移動販売までを障がい者に対する就労支援事業として行います。商品は、スーパーASOと同じ価格で販売しますが、出張販売手数料として1品お買い上げごとに10円を追加で負担いただきます。

移動販売は買い物機能の強化・拡充だけでなく、外出するきっかけづくりや、ご近所の繋がり・地域コミュニティーの活性化などの効果が期待されます。

今年度は津野地区をモデル地区として実施しますが、来年度以降、他の地区でも関係者と協議を行い、移動販売を開始します。事業の詳細は決定次第、広報などでお知らせします。

↑↗ 津野公民館では元気倶楽部の終了時刻に合わせて移動販売を開始します

←「昔にあった農協の購買車みたいで懐かしい」と笑顔で話す谷脇さん（上津野）

↑協定書署名式で固い握手を交わす
加来友あい会理事長㊧、寺西町長㊥、
徳丸麻生芳雄商事(株)代表取締役

英彦山スロープカーからのお知らせ

年末年始はスロープカーの特別運行を行います

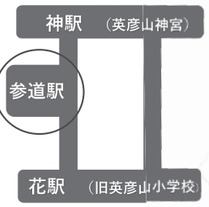
英彦山スロープカーでは毎年、年末年始に臨時便を運行しています。なお、今年４月１日から、幸駅（銅鳥居付近）が廃止となっています。花駅（旧英彦山小学校）からご乗車ください。

◉年末年始の営業時間

▷12月31日㈰
　８時40分～15時10分（上り最終14時40分）
　22時～３時10分（上り最終２時40分）

▷１月１日㈪～通常営業
　８時40分～17時10分（上り最終16時40分）

問 英彦山スロープカー（☎ 85-0375）



参道駅は降車のみです。乗車はできません。

国民健康保険団体連合会からのお知らせ

ご存じですか？ リフィル処方せん

リフィル処方せんは、同じ処方せんで最大３回まで繰り返し使用できる処方せんです。

▶リフィル処方せんが使用できる場合

症状が安定していて、医師がリフィルによる処方が可能だと判断した場合が対象です。処方せんの「リフィル可」の欄にチェックが入り、使用できる回数（２回または３回）が記載されます。

▶リフィル処方せんのメリット

使用できる回数の間は、医師の診察を受けなくても薬局で薬を受け取ることができるため、医療機関に行く必要がなく、患者の負担軽減になり、医療費の軽減にもつながります。

▶リフィル処方せんの注意点

投薬量に制限のある医薬品や湿布薬など使用できない薬があります。また、受け取り期間が決まっているため、その期間外は薬を受け取ることができません。

※詳しくは、かかりつけの医師や薬剤師に問い合わせください。

問 役場住民課保険年金係（☎ 82-5966）

人権が尊重され安心して暮らせるまちへ

12月は 人権擁護啓発強調月間です

12月１日㈮～31日㈰は「添田町人権擁護啓発強調月間」です。一人ひとりの人権が尊重され、安心して心豊かに暮らせるまちを目指し、町では期間中次のような取り組みを行います。

【主な取り組み】

▶人権啓発のチラシおよび啓発冊子の配布
▶人権啓発のぼり旗、懸垂幕の設置
▶街頭啓発、職場啓発
▶防災無線による啓発
▶人権ポスター、標語の展示
▶人権講演会の開催　など

【人権講演会を開催します】

◉とき　**12月13日㈬ 18時30分～**
◉ところ　オークホール
◉講師　神戸（かんべ）　金史（かねぶみ）さん
　（ＲＫＢ毎日放送報道局
　専任局長兼解説委員長）
◉参加費　無料
◉演題　「不寛容の時代を
　考える～障害者殺傷事件から～」

※手話通訳･託児（無料）あり

問 教育委員会社会教育課人権同和推進係
　（☎ 82-5800）